

※百分率は小数第二位で四捨五入するため、合計が100%にならない場合があります。

二輪車の交通事故発生状況

令和7年3月末

1 二輪車事故の発生状況

令和7年3月末現在の二輪車が関係した人身交通事故は、前年と比較して、発生件数及び負傷者数ともに減少しています。

また、死亡事故の発生はありません（前年比－1件－1人）。

【二輪車事故の発生状況】

（令和7年3月末速報値）

区 分	発生件数	死 亡 事 故		負 傷 者 数		
		件 数	死者数	重 傷	軽 傷	計
本 年	30	0	0	11	21	32
前 年	37	1	1	11	25	36
増 減 数	-7	-1	-1	0	-4	-4
増 減 率	-18.9	-100.0	-100.0	0.0	-16.0	-11.1

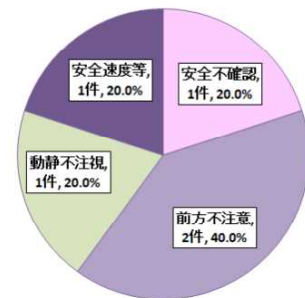
※本表の死傷者数には二輪車乗車中以外の死傷者を含む。

○ 二輪車が第1当事者となった事故（令和7年3月末速報値）

令和7年3月末現在の二輪車事故は30件で、うち、二輪車が第1当事者となった事故は5件（16.7%）で、一般原付が2件で、二種原付、軽二輪、そして自動二輪（251～400）がそれぞれ1件ずつとなっています。

第1当事者の違反別では、前方不注意が2件で最も多く、安全不確認、動静不注意、そして安全速度がそれぞれ1件ずつとなっています。

【第1当事者となった二輪車の違反】



【二輪車の交通死亡事故発生状況】

（令和6年中）

No.	発生年月日等								事故類型		死者		
	年	月	日	時	曜	昼夜	天候	発生場所	路線	形状	類型A	状態	年代
1	6	1	17	22	水	夜	晴	仙台市宮城野区扇町	市道	四差路	四輪対二輪	自二	20歳代
2	6	4	12	15	金	昼	晴	利府町神谷沢	町道	三叉路	二輪単独	自二	50歳代
3	6	5	22	5	水	昼	晴	仙台市青葉区郷六	高速道	カーブ	二輪単独	自二	60歳代
4	6	6	27	10	木	昼	晴	蔵王町大字平沢	町道	カーブ	四輪対二輪	自二	60歳代
5	6	7	11	15	木	昼	晴	大崎市岩出山	国道	直線	二輪単独	自二	60歳代
6	6	7	14	7	日	昼	晴	大崎市鹿島台	国道	直線	二輪単独	自二	40歳代
7	6	7	15	11	月	昼	晴	仙台市若林区今泉	市道	直線	二輪単独	自二	40歳代
8	6	9	8	13	日	昼	曇	石巻市新栄	国道	直線	四輪対四輪	自二	50歳代
9	6	10	10	18	木	夜	晴	角田市梶賀	市道	四差路	四輪対二輪	原付	70歳代
10	6	10	13	16	日	昼	晴	加美町下多田川	国道	四差路	二輪単独	自二	50歳代
11	6	10	20	21	日	夜	晴	仙台市若林区御町	国道	直線	四輪対二輪	自二	30歳代
12	6	12	10	0	火	夜	曇	仙台市青葉区八幡	県道	直線	二輪単独	自二	20歳代

2 二輪車事故の発生推移（基礎データ平成27年～令和6年）

二輪車事故の発生件数は減少傾向が続いており、令和5年は、記録の残る昭和41年以降で最少となりましたが、前年（令和6年）は、3年ぶりに増加に転じました。

また、死者数は、平成29年以降、一桁で推移していましたが、令和6年は12人と増加しました。

【二輪車事故の発生推移】



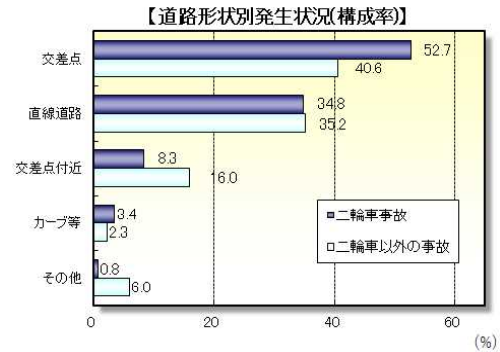
区 分	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年	6年
発生件数	610	516	518	465	349	263	281	270	249	264
死者数	10	11	6	7	9	5	8	8	6	12

3 二輪車事故の発生特徴等（令和6年中）

(1) 交差点での発生が多い

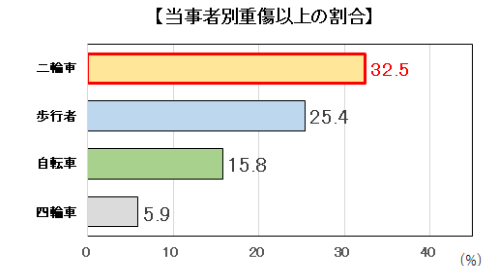
二輪車事故の5割以上(264件中139件。52.7%)が交差点で発生し、構成率が二輪車以外の事故(3,521件中1,429件。40.6%)を12.1ポイント上回りました。

また、カーブ等の構成率も、二輪車以外の事故を上回りました。



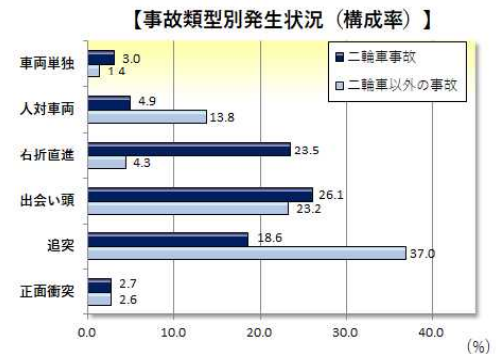
(2) 重傷以上の割合が高い

二輪車乗車中の死傷者が重傷以上となる割合は3割以上(231人中75人。32.5%)で、四輪車乗車中(3,290人中193人。5.9%)の5倍以上となっており、自転車等乗車中(569人中90人。15.8%)、歩行中(520人中132人。25.4%)と比較しても高い割合でした。



(3) 右折直進と出会い頭の事故が多い

事故類型別では、ほとんどが車両相互事故(264件中243件。92.0%)であり、中でも右折直進(62件。23.5%)と出会い頭(69件。26.1%)が多く、特に、右折直進は、二輪車以外の事故(3,521件中153件。4.3%)を19.2ポイント上回りました。



(4) 原付乗車中の死傷者が多い

二輪車乗車中死傷者の車種別では、原付(第一種)が約4割(231人中89人。38.5%)を占めて最多となり、次いで、原付二種(53人。22.9%)が多くなりました。

(5) 20歳代と40歳代の死傷者が多い

二輪車乗車中の死傷者の年齢別では、20歳代が231人中52人(22.5%)で最も多く、次いで40歳代(43人)が多くなりました。

また、学識別では、大学生が23人(10.0%)を占め、高齢者が24人(10.4%)を占めました。

